

# J.S.V.R.

# ニュースレター

# No.28

2021.11

発行人 日本バレーボール学会  
会長 黒川 貞生  
発行日 2021年11月1日  
事務局  
〒422-8581 静岡市駿河区弥生町6-1  
常葉大学静岡草薙キャンパス 高根研究室  
Tel&Fax 054-297-6264  
E-mail:jsvr.office@gmail.com  
<http://www.jsvr.org/>

## 日本バレーボール学会

The Japanese Society of Volleyball Research



### 巻頭言



日本バレーボール学会会長  
黒川 貞生（明治学院大学）

2019年12月に中国湖北省武漢市で原因不明の肺炎が集団発生し、2020年の1月には日本国内で初めて新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が探知されました。以降、COVID-19は第5波が8月下旬にピークに達し、その後急速に減少したものの、依然として収束したとは言えず、いつ第6波が生じるのかと不安な毎日を送っています。この間、COVID-19により多くの方々の尊い命が絶たれました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、罹患された方々ならびにそのご家族、関係の皆様へ謹んでお見舞い申し上げます。さらに、COVID-19が長期化する中、第1線で奮闘されている医療従事者の皆様に感謝を申し上げます。

さて、COVID-19のために1年延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、残念ながら開会式をはじめ競技のほとんどを無観客として、各々7月23日～8月8日、8月24日～9月5日の期間で開催されました。我々JSVR会員にとって最も興味あるバレーボール競技では、男子、女子ともに、これまでのオリンピックで優勝したことの無い国が金メダルに輝きました。男子ではフランスが、わずか4回目のオリンピック出場にもかかわらずROC（ロシア・オリンピック委員会）をフルセットの末に下し、バレーボール史上初の金メダルを獲得し、そして銅メダルはアルゼンチンが獲得しました。女子では、アメリカが強敵ブラジルを3-0で破り、長年の悲願であった金メダルを獲得、銅メダルはセルビアが獲得しました。我が国については、男子は29年ぶりに準々決勝に進み7位と、もちろんもっと上位を目指してほしかったのですが、大健闘であったと思います。一方、女子は1996年のアトランタオリンピック以来の予選ラウンド敗退（出場できなかったシドニーオリンピックは除く）となり、10位と大変残念な結果に終わりました。個人的な印象としては、男子についてはどういうバレーボールを展開したいのかが伝わってきました、女子については固定観念のようなものにとらわれすぎているのかなという気がいたしました。会員の皆様は、どのような印象をおもちになられたのでしょうか。3年後の2024年にはパリオリンピックが控えています。今後、東京2020オリンピックにおける各国の特徴・戦術等を詳細に分析し、その対応策を明確に示すことが肝要であり、喫緊の課題と考えます。我々JSVRも、会員の皆様のご尽力をえて、このプロセスに関わり、冊子等にまとめ、競技力向上に十分に貢献できる

よう活動する予定です。

JSVRは、毎年、研究ミーティングと学会大会を開催しています。今年度第1回理事会において、研究ミーティング・学会大会ともに、「東京2020オリンピックを振り返る」という趣旨のテーマで開催を検討することを決定しました。その方向性に従い、8月14日にはZoomウェビナーを用い、テーマを「アナリストからみたオリンピック出場国の戦術」と題して「2021バレーボールミーティング」を開催しました。詳細については、本ニュースレターに掲載されていますので、ご一読いただくと幸いです。また、第27回学会大会を2022年3月5日～6日の期間でオンラインにより開催することが決定しています。学会大会の内容は特別講演として「東京2020オリンピックの振り返りとパリ2024オリンピックに向けて(仮題)」、シンポジウムとして「多種目のコーチングから学び、バレーボールの発展を考える(仮題)」をテーマに予定し、目下、講師・シンポジストの選定・交渉中です。データに基づいたプレゼンテーションが行われ、建設的で活発な議論が展開されることを期待しています。さらに、オンラインによる一般研究発表の場も用意します。会員の皆様の研究活動の活性化を目指し優秀な研究発表を表彰する予定となっていますので、是非とも多くの方々からのエントリーをお待ちしています。なお、大会内容は現時点では確定していませんので、詳細については開催要項が決定次第、JSVRホームページ、メール等でお知らせいたします。

実は、2020年度はJSVR創立25周年の記念事業を開催する区切りの年でした。しかし、新型コロナウイルス禍のため、その予定は実現できませんでした。そこで、依然として新型コロナウイルス禍は収束していませんが、2025年度に30周年記念事業を開催し、そこに繋がる内容で且つその規模を抑えた27周年事業(25周年事業と銘打って行う可能性あり)を2022年度に開催することを第2回理事会で決定いたしました。2025年度はパリオリンピックの翌年になります。既にどこかで書きましたが、東京2020オリンピックおよびパリオリンピックにおけるバレーボール競技の世界のトレンドをデータに基づいて示した書籍等を編纂できるよう、会員の皆様のお力添えもいただき、準備したいと考えています。

JSVRには、様々なレベルのバレーボール競技を研究対象として、コーチ学、トレーニング科学、医学・生理学、バイオメカニクス、栄養学、および心理学等の様々な研究分野からアプローチし、競技力向上に資する知見を公表していく使命があります。そして、研究により得られた知見を、日本バレーボール協会等の関連する競技団体と連携し、練習および試合の場で活かし、バレーボール競技の発展に貢献しなければなりません。これらの使命を達成するためには、その基盤として会員相互の情報交換・研究協力が不可欠です。情報交換・研究協力のスピード化を促進するために、総務委員会には連絡の電子化の検討をお願いしており、まもなくプッシュ型の情報発信も実現できる予定です。学会活動を活性化させるためには新たな会員の獲得も必要です。会員の皆様には、お知り合いの方々にJSVRの学会活動をご紹介いただき、入会を勧めていただきたいと存じます。今後も、意義のある学会運営を進める所存ですので、引き続きご指導の程よろしくごお願い申し上げます。

※ JSVR ホームページに「日本バレーボール学会 新会長 ごあいさつ」を掲載しております。併せてご一読いただくと幸いです。